

令和4年度 研究の全体構想図

相楽東部広域連合立和束小学校

学校教育目標

学校教育に期待されること

- ・基礎的 基本的な知識、
- ・非認知能力と認知能力を一体的に育む教育の展開
- ・思考力、判断力、表現力の育成
- ・豊かな人間性の育成(人権 道徳)
- ・一人一人を大切に個性の伸長
- ・ふるさとを愛する心の育成
- ・地域社会の力を活かして子どもを育む環境づくり

**ふるさと和束に誇りを持ち 心を磨き 身を鍛え
学び続け 未来を拓く子どもの育成**

《 みんなを大事にする子 進んで学ぶ子 ほがらかで丈夫な子 》



めざす児童像(どんな児童に育てたいか)

- ☆自分の思いを伝え、相手の思いを受け止める子(つながり力)
- ☆自分を見つめ、自分を好きになる子(自分発見力)
- ☆自分で考え、主体的に自己決定し、挑戦できる子(チャレンジ力)
- ☆質の高い学力を育む(学びに向かう力)
- ☆デジタルを学びやキャリア形成に生かせる子(デジタル活用)

児童の実態

- ・教師の指示をしっかりと聞くことができる。
- ・指示待ちの児童が多い
- ・自分の思いを表現する力に弱さがみられる
- ・自分の良さに気付いている児童が少ない。
- ・将来に夢を持っている児童は少ない。

研究主題

人とつながり、目標に向かってチャレンジし、自分を好きになる児童の育成

～わたしたちの Well-being をめざすキャリア教育の実践と改善～

～子どもに身に付けさせたい力～

低学年

- ・自分の思いを言葉で伝えようとする事ができる。
- ・話を最後まで聞こうとすることができる。**つながり力**
- ・自分の良さや弱さを見つけることができる。
- ・どんなことでも進んで取り組もうと**自分発見力**ができる。

チャレンジ

中学年

- ・相手を見て場面に合った話し方で伝えようとする事ができる
- ・相手を見て最後まで話を聞こうとすることができる。**つながり力**
- ・自分の良さに気づき、弱さを見つめることができる。**自分発見力**
- ・どんなことでも自分から進んで取り組もうとすることができる。**チャレンジ**

チャレンジ

高学年

- ・自分の思いを相手に伝えようと工夫することができる。**つながり力**
- ・相手の思いを受け止めながら最後まで話を聞こうとすることができる。
- ・自分の良さを伸ばし、弱さを認めることができる。**自分発見力**
- ・自分を高めるために目標を持って取り組もうとすることができる。**チャレンジ**

チャレンジ

研究主題をもとに個人テーマの設定

- ・研究主題、児童の実態や教員自身の役割やストーリーを結び付け、個人テーマを設定。研究を「自分事」化する。
- ・個人テーマでの学びと全体の研究を行き来しつつ、研究の実践と改善を繰り返す。

授業づくり部

「キャリア視点での授業中の児童の姿」

授業の中で児童のゴールの姿を明確に示し、目標に向かって学び続けられるようにする。単元の学びを通して自己の振り返りや目標を意識させることで、児童自ら成長が実感できるようにする。

「和束スタンダードの再構築」

単元でのゴール(目指す児童の姿)→単元の見通し→授業→振り返りという学びのサイクルを確立する。

「単元構想シート」

単元構想シートを活用して教材研究を行い、教師が指導の見通しを持ち、学びのゴールの姿を示すことで、児童自らが目標に向かって学び続けるようにする。

キャリア部

「年間指導計画」

単元の中で付けたい力を考え計画し、一年間の見通しを持つ。さらに定期的に振り返り、計画の再構築をすることで児童が学びを実感できるようにする。

「キャリアキャリア」

小学校生活の学びの足跡にし、行事や学校生活での目標や振り返りをする。また、キャリアキャリアをデジタル化し、常に児童自身が目標を意識できるようにする。

「生き方アンケート」

生き方アンケートを実施し、自己を見つめ直したり、教師の指導に活かしたりする。

デジタル WB 部

「学びのハイブリッド化」

ICT を日常的に活用できる環境を整え、「文房具」として自由な発想で活用できるようにし、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に生かす。

「キャリア教育の促進」

キャリアキャリアやアンケートのデジタル化とその活用や、リモートでの小・小連携学習など、キャリア教育のねらいにせまる促進剤となる活用方法を探る。

「デジタル Well-being の模索」

デジタルをきっかけに人間関係をつくったり、デジタルを活用した生き方を模索したりし、Society5.0 を幸せに生きる態度を養う。